

大動脈瘤 に対する外科治療

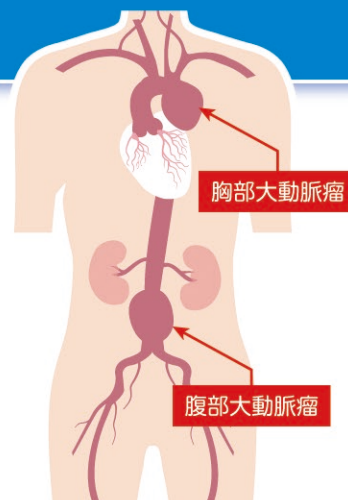
大動脈瘤とは？

大動脈とは、全身に血液を送る大血管のことです。

大動脈瘤とはこの大動脈の一部が「瘤」＝「こぶ」のように膨らんでしまう病気です。正常大動脈径の1.5倍以上に拡張したものが大動脈瘤と診断され、発生する部位により腹部大動脈瘤、胸部大動脈瘤、胸腹部大動脈瘤などがあります。

大動脈瘤の原因は**高血圧、喫煙、加齢などに基因する動脈硬化**と言われ、年齢とともに有病率が上昇します。

ある一定の大きさになると破裂する可能性が増大します。破裂すると体内に大出血を起こし、**救命は極めて困難**となります。



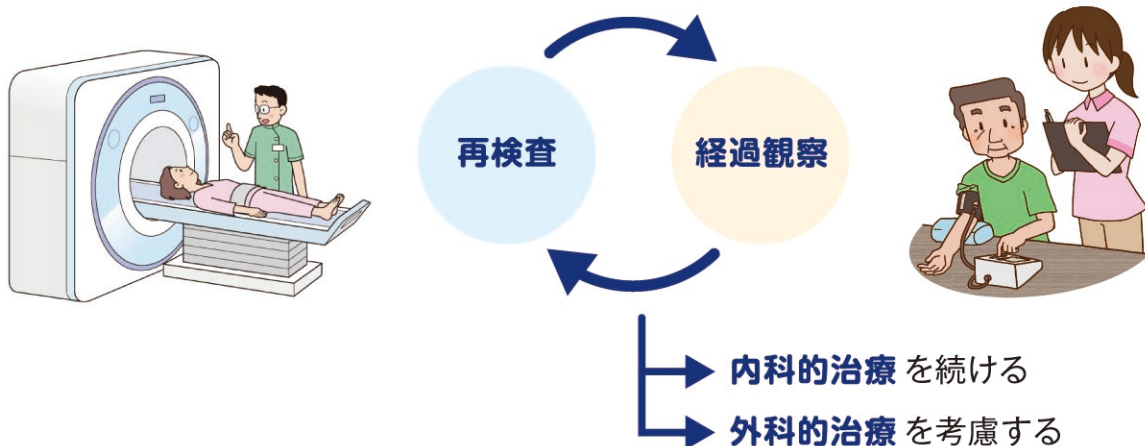
自覚症状のないサイレントキラー

瘤化がはじまると、年間1～2mmの速度で徐々に大きくなるといわれていますが、ほとんどの場合は無症状で経過します。したがって、破裂と同時に激しい痛みで発症し、**突然死の原因**となります。



大動脈瘤と診断されたら？

大動脈瘤を縮小させる薬はありません。**血圧管理を徹底**し、約半年ごとの**定期CT検査**にて大動脈瘤の大きさを計測し、適切な時期に外科治療を考慮します。



大動脈瘤に対する手術解説

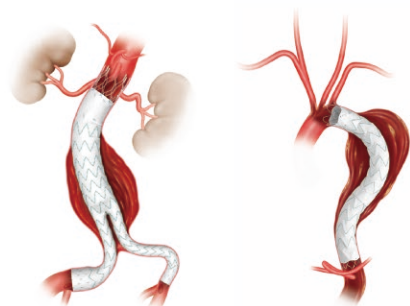
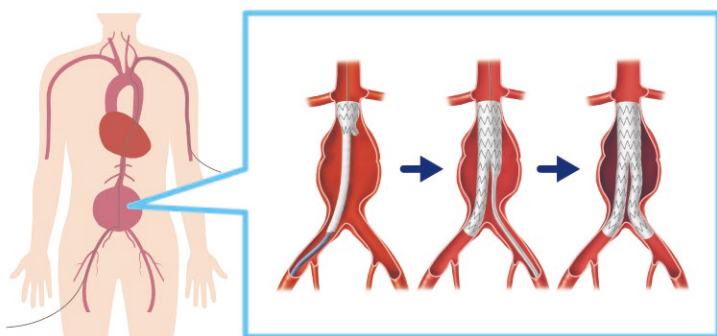
1 スtentグラフト内挿術 (カテーテル治療)

小さな創

短い手術時間

体の負担が少ない

足の付け根の血管からカテーテルを挿入し、大動脈瘤の内側でステントグラフトといわれる金属の骨付き人工血管を留置します。大動脈瘤に直接血圧がかからなくなり、瘤拡大を抑制し破裂を予防します。



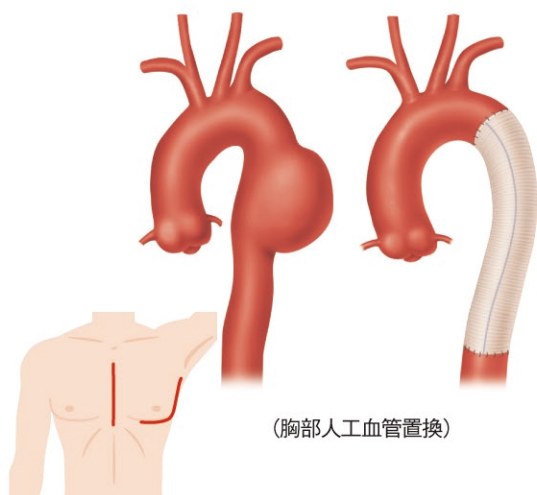
(腹部ステントグラフト) (腹部ステントグラフト)

2 開胸・開腹による瘤切除・人工血管置換術

確実に大動脈瘤を切除

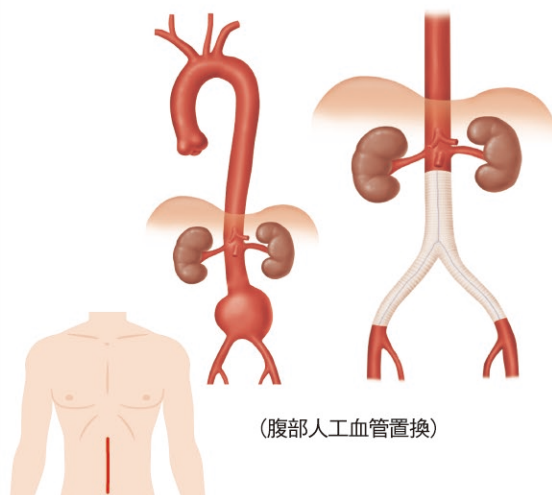
直接大動脈瘤を外科的に切除し、人工血管に置き換えます。胸や腹の切開を伴いますが大動脈瘤を切除しますので根治治療といえます。

胸部大動脈瘤



(胸部人工血管置換)

腹部大動脈瘤



(腹部人工血管置換)

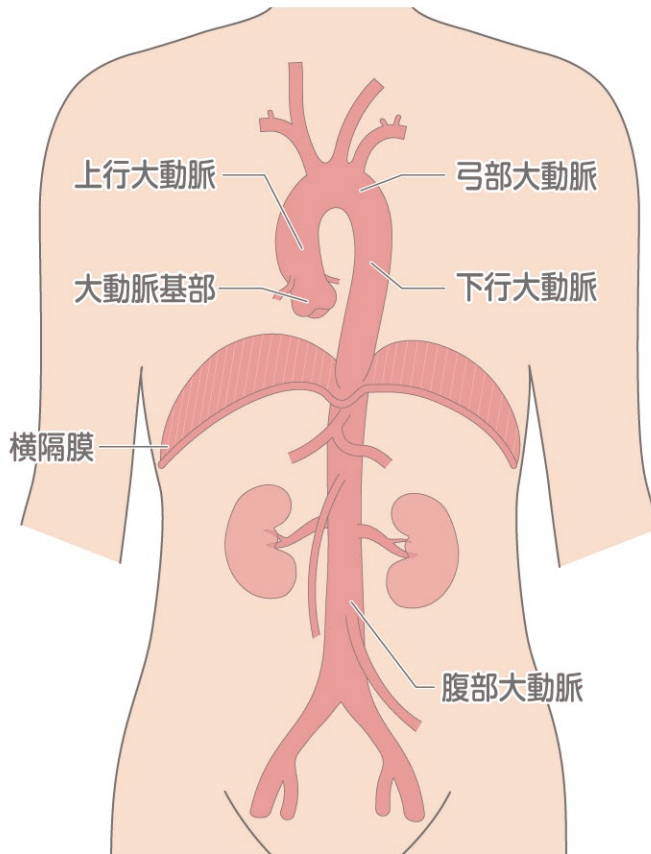
3 どちらの治療を選択するか？

ご高齢の方で体力的に切開手術に不安のある方には
ステントグラフト治療をお勧めし、若年で体力のある方
には根治治療である人工血管置換をお勧めしています。

どちらにもメリットデメリットがありますので、担当医の
先生とよく相談しましょう。

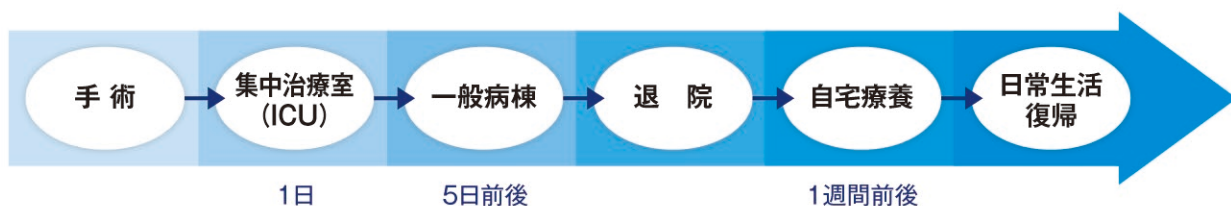


あなたの病名：

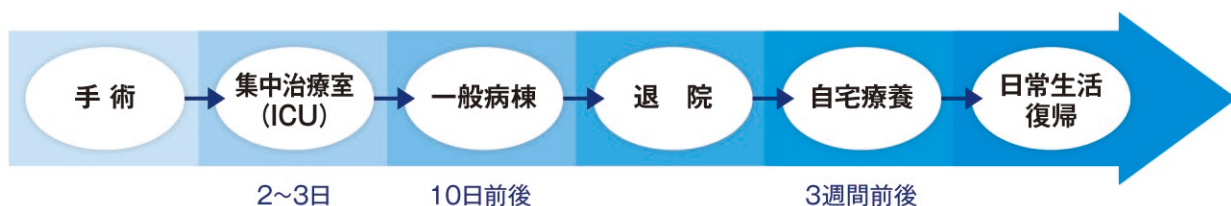


手術から日常生活までの流れ

ステントグラフト治療



人工血管置換術



Q&A (よくあるご質問)

Q 体の負担の少ないステントグラフト治療を受けたいのですが？

A 大動脈瘤のできる場所、大きさ、形状によって不可能な場合もあります。まずは外来で造影CTを行い判断します。

Q 手術に年齢制限はありますか？

A 基本的には制限はありません。ご高齢の方には負担の少ないステントグラフト治療をお勧めし、若年者の方には長期成績の良い人工血管置換術を推奨しています。

Q 手術後の禁止事項はありますか？

A どちらの治療も最終的に禁止事項はありません。もともとの日常生活が可能です。整骨院でのマッサージや電気治療、MRI検査も問題ありません。

Q 人工血管やステントグラフトはどれくらいもつのですか？

A 基本的に半永久的にもちます。よって何度も取り換える必要はありません。



医療法人社団 康幸会

かわぐち心臓呼吸器病院

〒333-0842 埼玉県川口市前川 1-1-51

TEL 048-264-5533 FAX 048-264-5501

<https://www.kheartlung.jp>

